

## 海外投融資情報財団(JOI)について

海外投融資情報財団(JOI)は、我が国企業の海外直接投資の動向、海外におけるエネルギー・インフラ・資源開発、新興国の投資環境とビジネス機会等に関する情報を、当財団が主催するセミナー、調査研究、機関誌やウェブサイトを通して、会員企業および一般の皆さまに提供します。かかる活動を通して会員相互の情報の交流、ネットワーク拡大を図り、我が国企業の海外直接投資・国際ビジネスの促進に寄与します。

**設立** 平成3年12月16日(大蔵大臣認可):国際協力銀行(当時、日本輸出入銀行)・商社・製造業企業、公益事業会社、金融機関等170社の出捐により設立  
平成22年11月1日(一般財団法人移行)

**会員** 本邦主要メーカー、建設・エンジニアリング会社、商社、通信・電力・ガス会社、金融機関、内外弁護士事務所、会計事務所、コンサルティング会社、各国大使館等 約200先(平成26年8月現在)

### 会員制度(賛助会員)のご案内

当財団会員にご入会いただきますと、以下のサービスを受けることができます。

- (1) 当財団が主催、後援、協力するセミナー(年間70件程度)へのご招待(無料)
  - (2) 会員と当財団によるセミナー共催
  - (3) 機関誌「海外投融資」(隔月発行)の無料配布、当財団ウェブサイトに掲載する機関誌記事の閲覧・検索
  - (4) 当財団ウェブサイトに掲載する調査報告書、セミナー動画等の閲覧
- 会費(年間):大企業36万円、中堅企業・地域金融機関24万円、中小企業12万円、個人6万円

## 海外投融資

Vol.23 No.5(通巻137号)  
2014年8月27日発行

発行  
一般財団法人 海外投融資情報財団

発行人  
森田 嘉彦  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北二丁目  
3番6号 九段北二丁目ビル  
TEL. 03-5210-3311(代)  
FAX. 03-5210-3456

制作協力  
(株)エディポック

\*本誌に掲載されている記事の内容や意見は、海外投融資情報財団の公式見解を示すものではありません。

●禁 無断転載

All rights reserved. No part of this magazine may be reproduced in any form or in any means without written permission from the publisher.  
©Japan Institute for Overseas Investment 2014  
Printed in Japan



### ● 囲碁と経営

古来、わが国企業内で人気のあるテーブル・ゲームといえば囲碁と将棋が双璧であろう。いずれも戦略性を涵養するものとして、時には企業から積極的に奨励されてきた。

しかし、「レジャー白書」(日本生産性本部発行。2013年版)によれば、競技人口(12年時点。重複選択可)は将棋が850万人であるのに対し、囲碁は400万人とその半分以下にとどまる。また特徴的なのは、囲碁の年代別人口構成で、60歳代以上のシニア層の割合が全体の約6割を占めている点である。

「将棋好きの経営者が囲碁ばかりやるようになったら要注意」という俗説があるそうだ。味方ばかりでなく、直前まで敵だった駒も「適材適所」で駆使して、比較的短手数で勝負するゲームである将棋には確かにスピードと緊張感がある。そのペースに耐えられなくなった経営者は劣化しているという見立てらしい。とすれば、通常の対局で将棋の倍以上の手数をかける囲碁は経営者向きのゲームではないのであろうか。

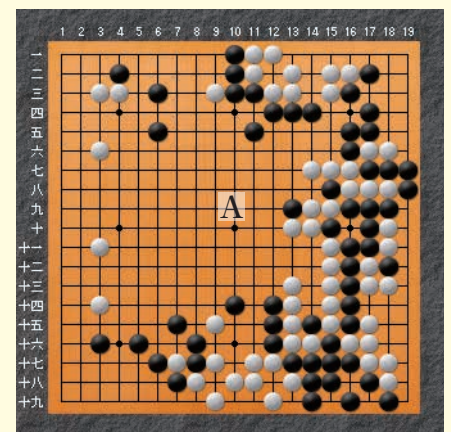
囲碁ファンにはよく知られた話がある。江戸時代、後に囲碁界の頂点を極める秀策がまだ18歳(四段)のころ、すでに一流棋士であった因碩(八段)に力試しを仕掛けられ

て対局し、それまで劣勢だった勝負で起死回生の一手(図:黒A)を放つことで最終的に逆転勝利した。着手の途端、相手の因碩の耳が赤く変化したことで、妙手

は「耳赤の一手」と呼ばれる。Aは「上方の黒模様を広げ、右方の白石群の拡大をブロックし、下方の黒石群との接続を展望し、さらに左方白模様の中への黒石による攻撃を含ませる」という多面的な効果が一度に狙える絶好点である。この例は、全体の状況に気を配り、長期的視点から(一度打ったら動かさない)石を効率的に配置する、囲碁戦略のスケールの大きさを物語るものである。

市場やデータ分析などに基づく突破力は経営には欠かせない。しかし、直観的な安定性もまた重要とする経営極意の会得には囲碁が向いているのであろう。(続く)

(調査部長 山本 拓)



耳赤の一手(黒A<10-9>)